

		I	II	III	IV	V	学習内容
レベルの定義		基本的な看護手順に使い応えに応じて配置された看護を実施する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実施する	ケアの受け手に合う個別化の看護を実践する	幅広い知識で予測の判断をもち看護を実施する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手帳を選択し、QOLを高めるための看護を実施する	
めやす		経験1年目	経験2年目	経験3年目	経験4～9年目	経験10年以上	
組織内 社会化	主体性 実行力	進んで取り組む	他の人に働きかけ巻き込む	目標設定し、確実に実行する	・目標を設定し、責任をもって確実に実行する ・組織内で議論したり、見解を示し、状況に合わせて適切な行動がとれる	・目標を設定し、責任をもって確実に実行する ・組織内で適切な形での主張ができる ・状況に合わせて適切な行動がとれる	マナー、接遇、 社会人としての 心構え
	考える力	課題発見力(現状分析、目的課題を明らかにする)	計画力、準備力(課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する)	・分析力(相互関係を明確にするために構成要素を分解し、関連性が説明できる) ・発案力(課題解決の目的を見極め、よりよい方法を考案できる) ・応用力(すでに学習した手段を別の状況に適用できる)	・分析力(相互関係を明確にするために構成要素を分解し、関連性が説明できる) ・応用力(すでに学習した手段を別の状況に適用できる) ・評価力(課題解決の目的に照らし合わせ、判断できる)	・分析力(相互関係を明確にするために構成要素を分解し、関連性が説明できる) ・応用力(すでに学習した手段を別の状況に適用できる) ・評価力(課題解決の目的に照らし合わせ、判断できる) ・創造力(物事を組み合わせて、新しい価値を生み出すことができる)	
	チームで働く力	・自己を分析し、自己を理解できる ・心身の健康に留意し、勤務する ・社会のルールや人との約束を守る ・ストレスの発生源に対応する ・相手に応じたコミュニケーションがとれる	・相手の意見を丁寧に聴く ・自分の意見をわかりやすく伝える ・ストレスの発生源に対応する ・社会のルールや人との約束を守る ・チーム、周囲への配慮、協調性がある ・心身の健康に留意し、勤務する	・意見の違いや立場の違いを理解 ・自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する ・ストレスの発生源に対応する ・周囲の状況を察知し、配慮した行動がとれる	・意見の違いや立場の違いを理解した上で発言ができる ・周囲の状況を察知し、配慮した行動がとれる ・様々な事象や他者との関係を柔軟に調整することができる ・評価力(課題解決の目的に照らし合わせ、判断できる) ・周囲の発生源に気を配ることができる	・意見の違いや立場の違いを理解した上で発言ができる ・周囲の状況を察知し、配慮した行動がとれる ・様々な事象や他者との関係を柔軟に調整することができる ・自分のみならずチーム、組織内のすべの発生源に気を配ることができる	
組織的役割遂行能力		責任の最も軽い難易度の最も低い、軽微な組織の役割を果たす。看護チームではフォロワーやチームメンバーの役割、病棟の係として簡単なルーティンの役割の役割を遂行できる。	組織の一員としての役割が遂行できる。部署の目標達成に向けて、基本や手順を遵守した行動がとれる。	所属する職場で組織的役割が遂行できる。看護チームではチームリーダーやコーディネーターの役割、病棟での係としての組織的能力を要求される役割の役割を遂行できる。日々の看護業務においてリーダーシップがとれる。	所属する職場で、特殊なまたは専門的な能力を必要とされる役割、または指導的な役割(学生指導、病棟指導、学習指導、教育委員、リスクマネジメントなど)が遂行できる。看護単位の課題が明確にできる。	所属を超え、看護部や病棟から求められる役割を遂行できる。看護単位の課題に対し、具体的解決を図れる。	
看護師としての基本的資質 態度	基本的責務	看護師として果たすべき責務を理解する	看護師として果たすことのできる業務範囲を認識できる	自分の専門的判断と行為に対する説明責任を果たすことができる	看護ケアの効力とリスクについて十分な情報を説明できる	看護ケアの効力とリスクに責任を持つ	組織教育 安全・感染
	安全への意識・関心	・リスク要因を考え、予防策を検討することができる ・セーフティネットを含めたインシデントの報告ができる ・感染対策を含めた、危険回避行動を身に付ける ・不明点や疑問、気づきを早期に報告、相談できる	・正確な感染予防行動を実行できる ・間違いの本質を見極め、危険回避対策を考案することができる	チームレベルでの組織的危険回避対策を考案し、メンバーとともに実行できる	看護単位レベルでの組織的危険回避対策立案、実施において、リーダーシップが取れる	部署を超えた広域安全管理、感染予防対策活動に率先して取り組む	
	倫理規範の尊重	医療・看護の倫理について熟知する 患者のプライバシーや個人情報保護を保障する 患者の価値・信条・文化や生活背景を理解する	患者の考えや意思を関係者に伝え、代弁できる	患者の価値観や信条、生活習慣などを尊重しながら、看護実践できる	患者の尊厳や人権を擁護するとともに、患者の意思決定を支える援助ができる	部署において、倫理的行動のモデルとなり、その理由を含めた指導ができる	
自己教育・研究能力・キャリア形成		自己課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる	自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動に取り組むことができる	自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や看護学生に対する指導的な役割を遂行することができる	自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に研究に取り組む。後輩のロールモデルとなることができる	単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる 主となり研究活動を展開することができる 看護単位における教育的役割がとれる	自己研鑽教育 キャリア教育
専門職 社会化	ニーズをとらえる力	助言を受け手がケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる	フィジカルアセスメント 臨床推論
	ケアする力	助言を得ながら、安全な看護を実施する	・指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる ・指導を受けながら、ケアの受け手に基本的援助ができる ・看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる	ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実施する	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実施する	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実施する	看護技術
	臨床実践能力	関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実施する	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実施する	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実施する	チームナース 多職種連携
	意思決定を支える力	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	助言を受け手がケアの受け手や周囲の人々の意向や考え、希望を知ることができる	ケアの受け手や周囲の人々の意向や考え、希望をケアに関連づけることができる	ケアの受け手や周囲の人々の意向や考え、希望をケアに関連づけることができる	ケアの受け手や周囲の人々の意向や考え、希望をケアに関連づけることができる	退院支援